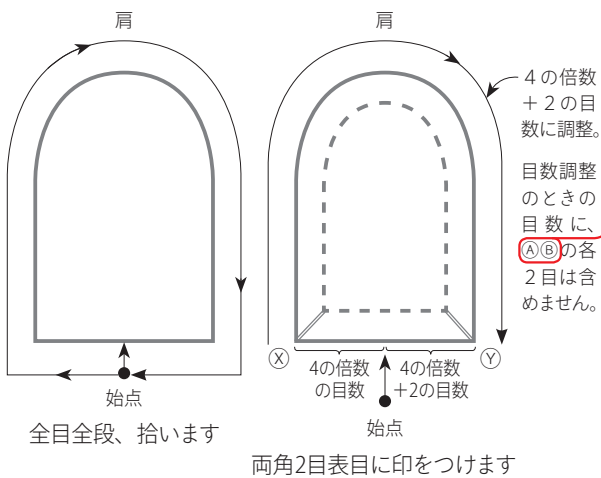


以下、訂正して、
お詫びいたします。

ⓧ Ⓨ

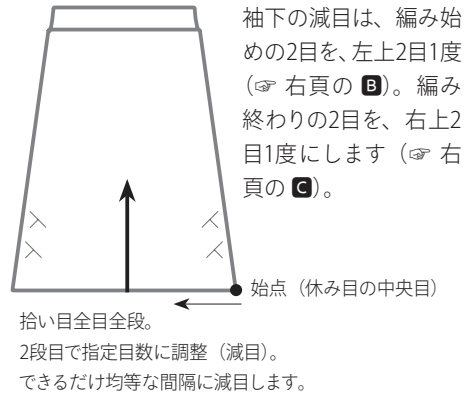
[ウェストコート] 袖ぐりの編み方



- ① 袖ぐりのエキストラ・ステッチ12目の中央を切り開きます (☞ 右頁の **A**)。
- ② 指定の毛糸で目を拾います。袖下の休み目中央から、時計回りに全目全段。
- ③ 全目拾い終わったら、両角 (ⓧとⓎ) の2目にマーカーをつけます。
- ④ マーカーをつけた両角 (ⓧとⓎ) の2目が表目になるようにして、2目ゴム編みをしながら、2段目で目数調整をします。
- ⑤ 袖の縁編みの両角 (ⓧとⓎ) の減目は、
1目めは、手前の1目と毎段・左上2目1度 (☞ P.23の **3A**)
2目めは、次の1目と毎段・右上2目1度 (☞ P.23の **3A**)
- ⑥ 指定された段数を編んだら、両角の減目もしながら、表目は表目、裏目は裏目に編み、伏せ止めます (☞ 右頁の **D**)。

[注] このスクエアの袖ぐりは、私の独自のやり方です。

[ジャンパー & カーディガン] 袖の編み方



- ① 袖ぐりのエキストラ・ステッチ12目の中央を切り開きます (☞ 右頁の **A**)。
- ② 指定の毛糸で目を拾います。袖下の休み目中央から、時計回りに全目全段。
- ③ 2段目で、指定の編み目数にします。
(2段目の目数調整をするとき、減目する目に、あらかじめマーカーをつけておくと、楽に作業できます)
2段目は、できるだけ均等に減目しながら編みこみ模様を入れるので、集中力が必要です。この段をきちんと編むことで、そのあとがとても楽になります。
目数を整えたら、編み図にしたがって、袖口まで編みます。
- ④ 袖の減目は袖下でします。減目をする段の、編み始めで、左上2目1度 (☞ 右頁の **B**) 編み終わりで、右上2目1度 (☞ 右頁の **C**) 袖下中央に、減目が2つ並ぶこととなります (☞ P.26、**コツ** ①)
編み模様や配色によって、身ごろを編んだときの配色図を逆から見て編むこともあります。これは、袖は身ごろと逆に編み下げてくるためです。
- ⑤ 袖口の2目ゴム編みを編み、表目は表目、裏目は裏目に編み、伏せ止めます (☞ 右頁の **D**)。

[注] この工程は、私の経験から独自のやり方を加えています。

11

Nice Day!

快晴!

以下、訂正して、
お詫びいたします。

「ハマナス」の芳しい香りを胸一杯に吸ったときに見た青空です。なんとも晴れやかな空でした。

「9 Homely Garden」の配色を入れ換えて編むことができます。袖丈が、やや長いデザインです。

(注：この作品は一部、写真とは異なります。身ごろの編み出しの部分です)

糸 全8色 / 19玉 → 20玉

[1] 103 Sholmit 4玉

[3] 135 Surf 2玉

[4] 140 Rye 2玉

[P・S] 343 Ivory 1玉

[9] 620 Lilac 1玉

[3] 676 Sapphire 3玉

[3] 1010 Seabright 4玉 → 5玉

[4] 1140 Granny Smith 2玉

ゲージ (1模様)

八角形柄：24目×21段
(上下模様2段を含む)
7.3×6cm

細い模様：(1模様、6、8、12目
があるので段数のみ)
9段=2.5cm

用具

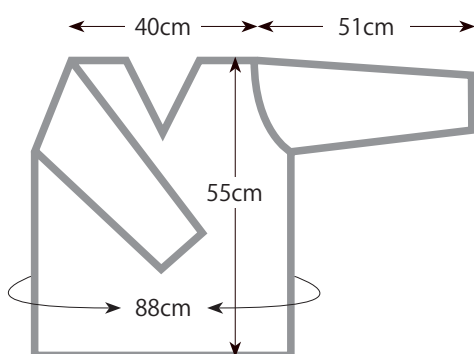
輪針：3号、4号
(各40cm、60cm)

短棒針：3号、4号 (各4本)

かぎ針：3号か4号

毛糸針：(細か中) 1本

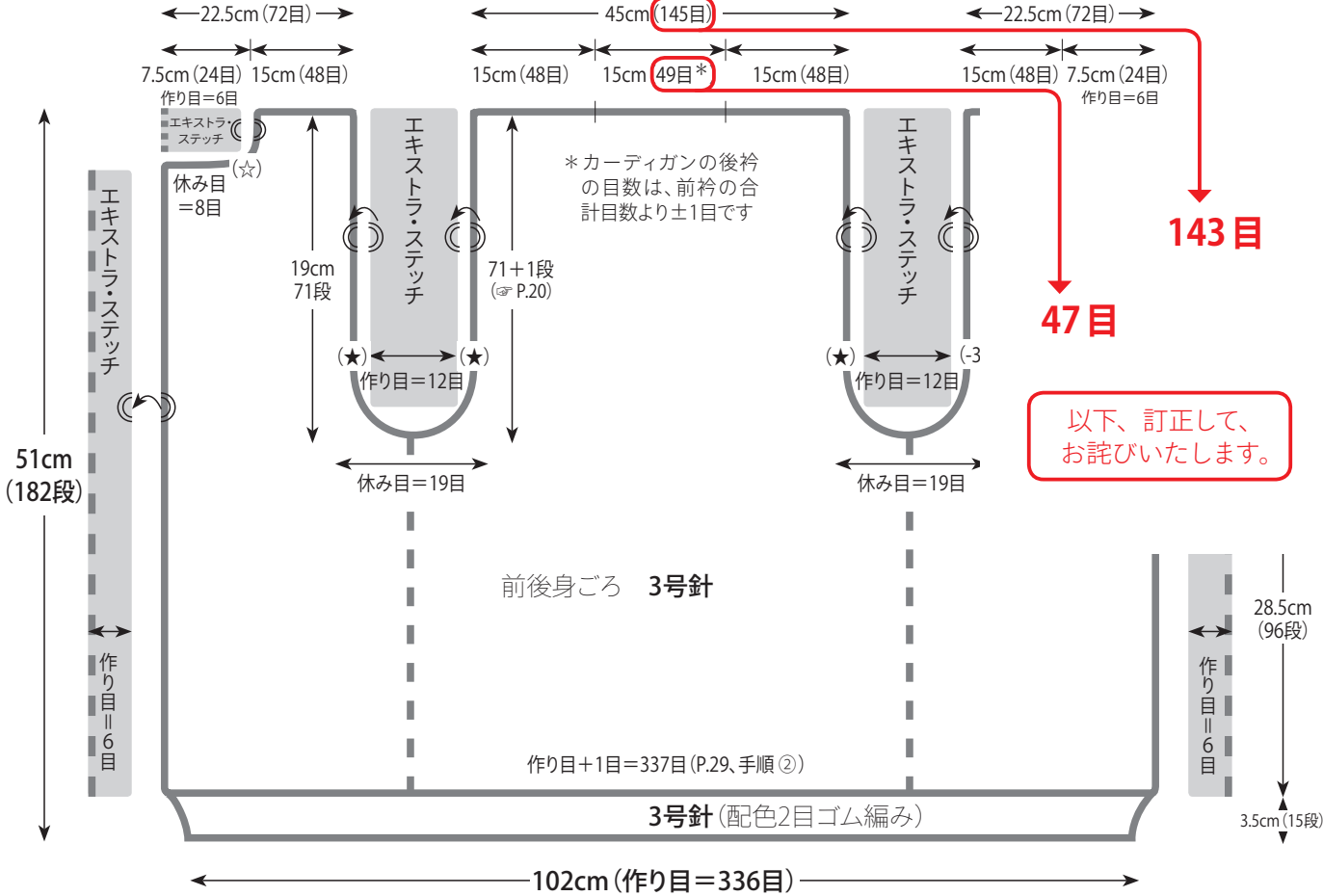
できあがり寸法



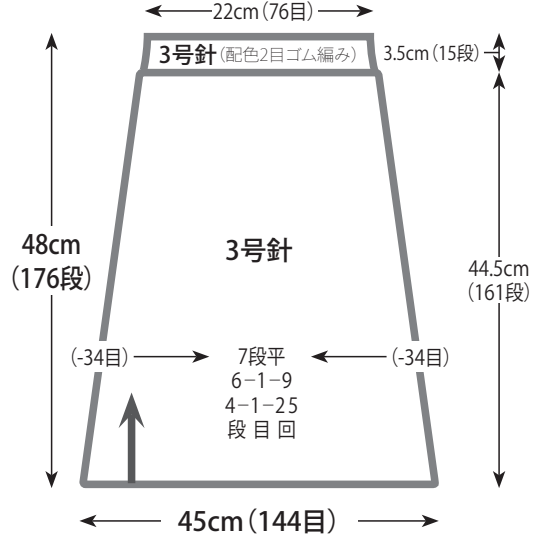
肩の出会い

前身ごろ





袖の編み図



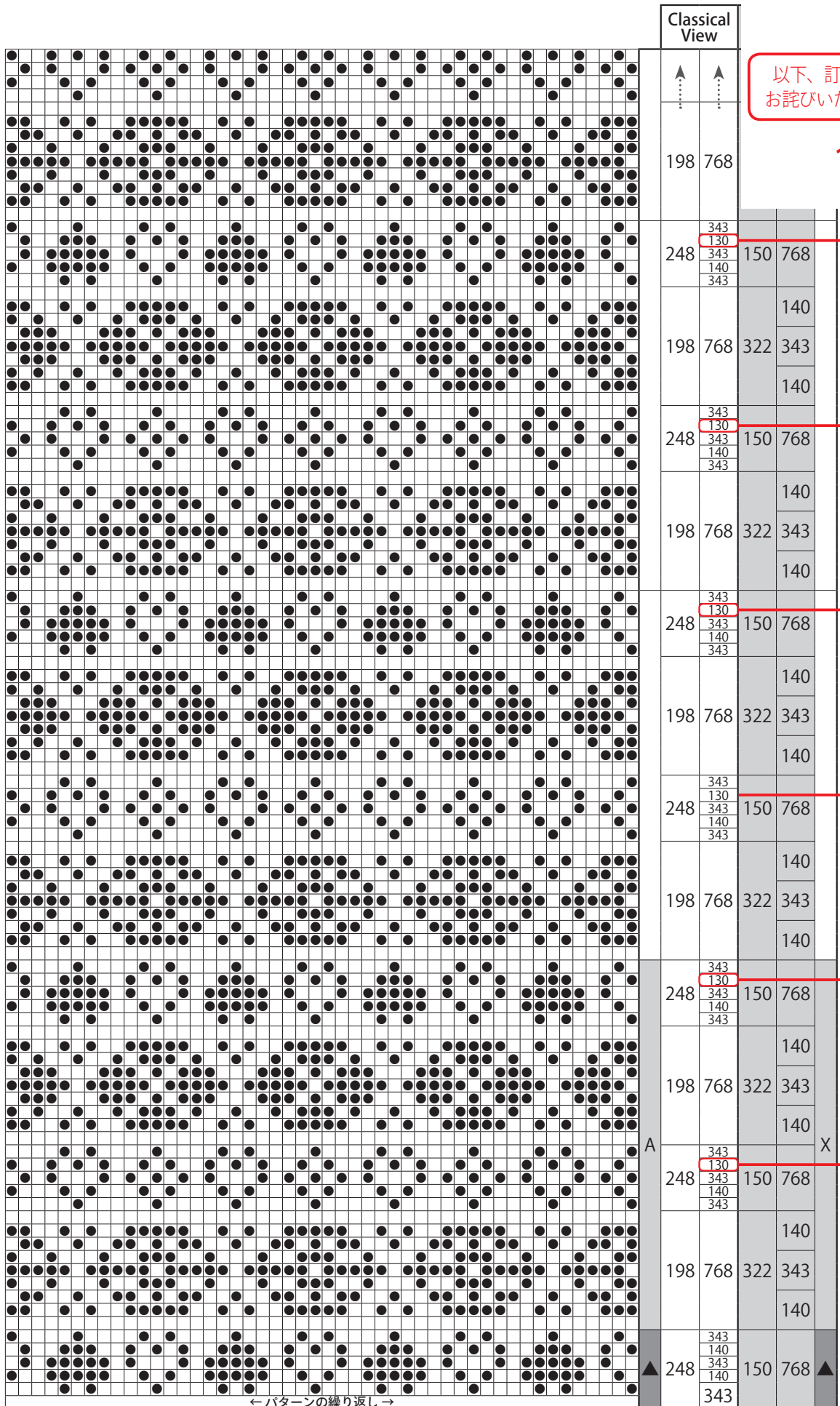
全目全段、袖ぐりから拾い目をして、2段目で144目に目数調整します (P.24)。
衿は、P.30を参照してください。

袖口・裾の配色図

袖口				裏目	表目	段	裾
(684伏せ止め)		550	764	15			
		540		14			
		575	134	12-13			
		563		11			
		563	136	9-10			
		616		6-8			
		563	684	4-5			
		575		3			
		540		2			
		作り目=684		1			
		(3号針)	裏目	表目	段		

衿・前立ての配色図 (684伏せ止め)

	540		13-14	
	575		12	
	563	684	10-11	
	616		7-9	
	563	136	5-6	
	563	134	4	
	575	134	2-3	
	拾い目=575		1	
	(3号針)	裏目	表目	段



以下、訂正して、お詫びいたします。

140

↑
「配色」は、▲を編んだあと、Xを繰り返す
「地色」は、▲を編んだあと、Aを繰り返す

Classical View

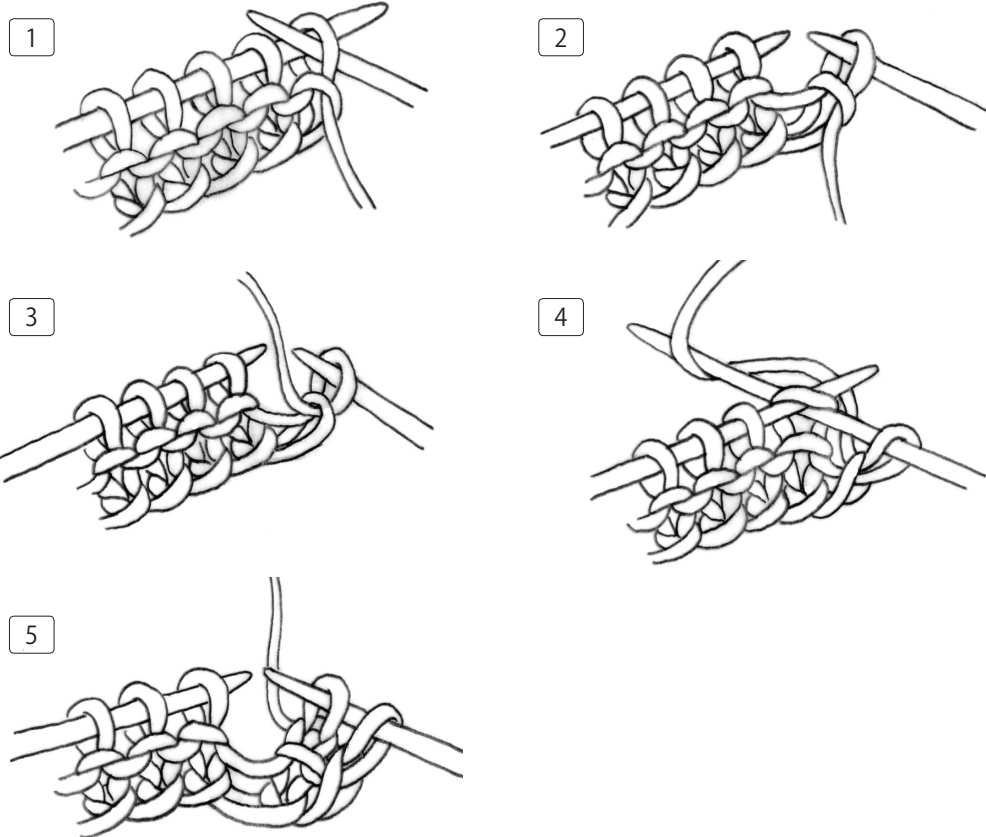
▲	▲		
198	768		
248	150	768	
198	768	322	343
248	150	768	
198	768	322	343
248	150	768	
198	768	322	343
248	150	768	
198	768	322	343
248	150	768	
198	768	322	343
248	150	768	
198	768	322	343
248	150	768	
198	768	322	343
248	150	768	
▲	▲		

地色 配色 地色 配色
 □ ● □ ●

▲ 編み始め

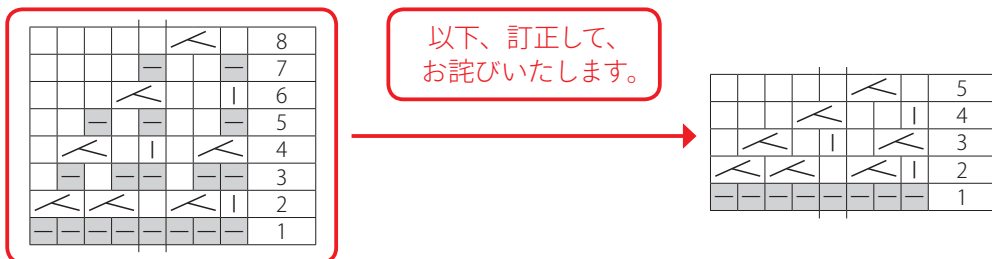
- 平編みで、編み始めを必ず「すべり目」(下図参照)にします。
- 毎段(偶数段も奇数段も)中央目の次の2目で左上2目1度の減目、最後の目の手前2目で左上2目1度をし、最後の目は表目1目にします。→1段で2カ所の減目をするようになります。

すべり目



⑤ 全体の目数が77目になったら、④の減目に加えて毎段の編み始めのすべり目の次の2目を左上2目1度します。→1段で3カ所の減目をするようになります。

⑥ 全体で8目になったら、以下の図のように、最後2目1度で糸を引き抜いて、編みあがりです。



⑦ つないだ糸端などをとじ針で、編み地に見えないように縫いこみます。

⑧ 洗って完成です。